

ショウティックかわら版

昭和電工株式会社喜多方事業所
昭和電工喜多方アルミ株式会社
発行日：2019年1月10日
第35号

ものづくり交流フェアに出展しました

10月6日に「第3回喜多方市ものづくり交流フェア」に参加しました。「ものづくり交流フェア」は、市民の方々に、ものづくりの楽しさやすばらしさを体験していただくことを目的に、喜多方市が主催しています。

当日は、当社の製品紹介を行い、『つかめる水』作りの体験や当社製品を顕微鏡で観察をするコーナーを設けました。子どもたちは、思い思いの形作りや色付けをして楽しんだり、普段の見た目とは全く異なる顕微鏡でしか見えない世界に目を輝かせたりしていました。今回の体験を通じて、科学の面白さ・ものづくりの楽しさを感じていただけたと思います。当社では、今後も地域の皆様に会社やものづくりの楽しさを伝える活動を行ってまいります。



遠藤喜多方市長にも
お越しいただきました

喜多方市長 喜多方工業クラブが来場されました

10月26日に遠藤喜多方市長と市役所商工課、喜多方工業クラブの皆様が来場されました。

喜多方工業クラブは、会津喜多方商工会議所内の組織であり、地域振興に寄与することを目的に、喜多方地方の工業経営者によって構成されています。今回は、会員相互の情報交換・経営の近代化の視察を兼ねて、当事業所内に新設されたアルミ製品評価センターの見学のためのご訪問となりました。



参加者集合写真



見学の様子

はじめにアルミ製品評価センターの概要を説明したのち、施設を見学していただき、それぞれの機器の説明を行いました。参加された方からは「地域活性化のために、もっとPRしてほしい」などの要望をいただき、アルミが主要産業のひとつである喜多方市におけるアルミ製品評価センターの与える影響や当社の果たすべき役割の大きさをあらためて感じました。

当社では、今後も継続的に地域との連携を深め、地域経済の発展に寄与してまいります。



会津工業高校・喜多方桐桜高校の インターンシップを実施しました

10月10日～12日に会津工業高校機械科の2年生4名、
11月6日～8日に喜多方桐桜高校機械科2年生2名
のインターンシップを受け入れました。
当社では毎年、上記2校の生徒を受け入れており、
今年は製造部鍛造課・素材加工課で実習を行いました。



機械の前で説明を受ける様子

実習では、初めに安全教育や製品・技術の説明を行い、
工場見学の後、現場に向かいました。実習ではそれぞれ
実際の製造工程の中で機械や製品を扱う作業や、現場で
用いている分析手法を用いての調査を行いました。

インターンシップを通して、挨拶や時間厳守など社会人
の基本的なマナーから、製造現場での仕事や安全に対す
る意識まで、生徒はいろいろなことを感じ、学んだこと
と思います。今回得た経験が、自らの将来を考えるうえ
で役に立つことを願っています。



実習報告を行う学生

防災訓練を実施しました

10月12日に総合防災訓練を実施しました。

福島県沖を震源とする強い地震が発生し、地震の影響で携帯電話及び場内電話は不通という状態を想定して訓練を実施しました。訓練では、職場管理者の指示のもと、全員が身の安全を確保しながら避難し、各避難場所で安否確認の点呼が行われました。本事務所には、社長を本部長とする緊急対策本部が設置され、対策本部の指揮のもと、場内の各避難場所から報告される従業員の安否の把握、工場敷地内への立ち入り制限、報道関係者の来場・問い合わせ対応などの訓練を行いました。



消火訓練の様子

また、開発部の屋外灯油タンクから火災が発生した際の自衛消防による対応訓練も併せて実施しています。

今回は、連絡手段が伝令もしくはトランシーバーのみとなり、想定外の動きが必要となる場面も見受けられ、全員が本番さながらの緊張感をもって、各自の役割を果たしていました。



避難場所での安否確認

訓練後すぐに反省会を行い、トランシーバーの運用や伝令方法、想定より時間が掛かった項目などの反省点が指摘され、課題を共有した上で、改善策を話し合いました。

今回の訓練の反省を実際の対策に活かし、万が一の場合への備えの具体化を継続していきます。

発行元：昭和電工(株)喜多方事業所(総務課)
お問合せ先：福島県喜多方市字長内7840
電話：0241-22-1261